

議会だより

# かどがわ

January  
2017

1

No.149

## あけましておめでとうございます



県内トップの消防始式

- ・ 補正予算 ..... 2P
- ・ 第4回議会報告会を開催 ..... 4P
- ・ 一般質問 6人が登壇 ..... 6P

(表中の金額は、万円未満切捨て)

### 国民健康保険事業特別会計補正予算

既定の予算から4723万1千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ32億5649万9千円とする。

主な	歳入	療養給付費交付金など	2470万円	追加
		共同事業交付金	7691万円	減額
主な	歳出	保険給付費	1726万円	追加
		共同事業拠出金・予備費	6306万円	減額

### 後期高齢者医療特別会計補正予算

既定の予算に39万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億2096万9千円とする。

歳入	諸収入	39万円	追加
歳出	後期高齢者健診委託料	39万円	追加

### 介護保険事業特別会計補正予算

既定の予算に126万6千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ16億6478万4千円とする。

主な	歳入	県支出金	105万円	減額
		国庫支出金・繰入金など	208万円	追加
主な	歳出	保険給付費の実績見込み	68万円	追加

## 平成28年 第2回臨時会

10月18日に、臨時会を開き、台風16号被害に伴う補正予算を審議し可決しました。補正予算5250万円を追加し予算総額は78億5531万1千円になりました。

### 補正予算 歳入～地方交付税5000万円、諸収入250万円追加

歳出の主なもの (万円未満切捨て)



三ヶ瀬地区農地農業施設災害復旧 1150万円



林道水無線など林業施設災害復旧 1321万円



竹名中村線など道路災害復旧 110万円



西門川小中学校施設災害復旧・備品 797万円

# 追加補正 1億6695万円

## 一般会計 総額 80億2226万円

全員賛成

## 平成28年 第4回定例会

12月6日～12日まで7日間開かれ、諸般の報告、委員長報告の後、議案13件、発議1件の審議を行い、追加予算などを含めすべての案件を可決し閉会しました。

今回の補正予算の歳出の主な事業 (万円未満は切り捨て)

災害復旧費(台風16号関連)

### 7690万円

大原・赤木ほか農業用施設……………3900万円  
林道塩見谷・土々呂内線ほか林業用施設……………1200万円  
貝ノ木本津々良線ほか道路・河川の公共土木施設…2590万円

臨時福祉給付金(経済対策分)

### 7882万円

次年度繰越分を含む

多目的トイレ改修工事等

(オストメイト対応)

### 160万円

(クリエイティブセンター内)  
寄附金(100万円)活用

庵川漁協貯氷冷蔵施設改修

### 220万円

補助事業

今回の補正予算の歳入 (万円未満は切り捨て)

1億6695万円 内訳

地方交付税	176万円	追加
分担金・負担金	375万円	追加
国庫支出金	7975万円	追加
県支出金	4054万円	追加
寄附金	115万円	追加
町債	4000万円	追加

# 多くの意見をいただきました



中尾公民館



西門川活性化センター

# 第4回議会報告会を開催しました。



西栄町公民館

- ◎11月15日(火)  
中尾公民館  
(来場者12人)
- ◎11月16日(水)  
西門川活性化センター  
(来場者22人)
- ◎11月18日(金)  
西栄町公民館  
(来場者 8人)

## みなさんからいただいた質問です。(抜粋しております。)

### 質問

問 閩末地区に津波時の避難タワーは造らないのか。

### 答え

答 500 m以内に、一時避難所が存在し、町としては設置しないとのこと。

問 388号線の庭谷、松瀬、北郷間のうち8kmは一車線となっているが、議会の対応は。

答 県は道路拡幅の方向で考えている。調査を早急に進めるとのこと。

問 台風での水害対策、ゴミ対策を抜本的に考えてほしい。

答 土木事務所に改善策を要望している。また町にも提言していく。

問 地域振興券の効果は。

答 1億9500万円の振興券を発行し、町内で消費した。4500万円を町が補助。



町長に提言書を渡す議長

### 町長への提言

提言内容(抜粋)

災害ごみの一時集積場所の確保、ゴミの搬送・搬入の特段の措置、災害対策マニュアルを小規模・局地的災害にも対応できるよう、早期に見直し、もしくは、災害規模ごとのマニュアル策定をすること。

### 質問

問 富山市議会では、政務活動費の使途が問題になっているが、門川町議会では議員一人あたりいくらになるのか。

### 答え

答 門川町議会には、政務活動費はない。

問 閩末港に県の補助で設置した養殖場跡地があり、ゴミ捨て場と化している。町で撤去できないか。

答 個人資産であり、町としては撤去は困難、県への要請を行っている。

問 合同金婚式を何故、町で音頭をとってやらないのか。延岡市、日向市ではやっているが。

答 出席する方が年々減少してきた為、町では中止した経緯がある。

問 学校のプールは、夏休み利用できないのか。

答 監視の対応が難しく、事故時の責任問題等あり、利用は困難なようである。

問 町長選、議会議員選を同時に実施すれば投票率アップ、経費削減になるのではないか。

答 議論はしているが、なかなか難しい問題である。

問 資源ごみ、プラスチックの回収益はいくらか。また、その使途は。

答 資源ごみの27年度の利益は、47万5千円で回収団体に還元している。プラスチックについては有価物ではないので、売買益はないが日本容器包装リサイクル協会から再商品化の費用や品質によって収入がある。27年度は約50万円で使途は回収事業の一部に充当している。



## 産業振興の方向性について

米良 格

**町長** 各種事業、交付金制度により具体的に推進



農林水産業、工業、サービス産業は、時代の変革とともに発展及び衰退を繰り返している。今後も人口減少、少子高齢化により急激に変化していく。門川町でも漁業、町内商店街、農林業の変化に対応していくことが緊急の課題である。マスタープランなどを実現していく中で、町として急ぐべき産業振興の具体策は。

**町長** 農業においては、担い手の確保・育成。施設園芸の拡大。林業については、森林づくり事業による植林、下刈りなどの支援。水産業では、放流事業、漁船燃費向上対策、藻場保全など。商工業については、「振興券」「商品券」の継続、県外企業訪問、門川町への企業立地の情報提供など。また、町内関係団体との連携により推進していく。

**町長** 閩隣接の日向市にある重点港湾、『細島港』の活用、連携については、閩本年6月公表の『細島港』計画によると、工業用地として24・5ヘクタールを埋立て、6・9ヘクタールの水深15m岸壁新設を予定し、位置的には門川町向ヶ浜南側に近接している。

**建設課長** 全国、県内の状況を調査していく。閩浸水対策として住宅の嵩上げに町独自に費用の一部を補助しては、

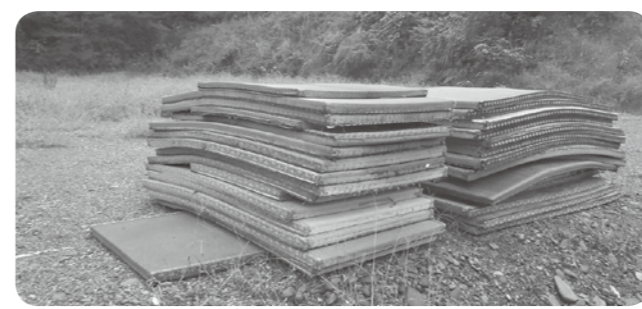
**建設課長** 今後、日向市、県と情報共有し、門川町に活かしていきたい。



上井野地区住宅浸水状況

要望があった西門川活性化センターには仮置き場を設置し、清掃工場への畳の搬入は切断せず受け入れた。今回の台風災害では被害に遭われた方々にご迷惑をかけたましたが、今後は災害の規模・範囲等を勘案し、特別対応が必要な場合は、仮置場の設置、清掃工場への受け入れ方法など適切な対応を迅速に行っていく。

要望があった仮置き場



**町長** 台風通過後の20日時点で災害ごみの状況が把握できておらず、清掃工場は通常通りの受け入れを行った。



大原地区被災状況

**町長** 閩高年齢者の運転による重大事故が多発し、県内でも暴走による死亡事故が発生している。運転免許返納は、生活範囲を狭めるものであり、単純に勧められないが、門川町独自に行えるものはないか。

**町長** 閩現在実施中の『公共交通体系実証実験』を活かさないか。

**町長** 日向自動車学校と業務提携し、「交通安全教室」を開催。日向地区交通安全協会・門川支部では、出前講座を実施している。

**町長** 高齢者の生活を守るためにも乗合タクシー運行の必要性が高まる。実証実験の推移を見守り、「門川町地域公共交通会議」で検討していく。

### みんなで見守る！運転技能低下の前兆

- 一、急ブレーキが多くなる
- 二、センターラインを超える
- 三、信号無視、標識の見落としが増える
- 四、車庫入れに失敗
- 五、車間距離がキープできない
- 六、カーブをスムーズに曲がれない

### 免許返納を勧めるコツ

- 一、本人の為に自主返納
- 二、医師などから運転制限の助言
- 三、決まった人で送り迎え
- 四、車に代わる交通手段
- 五、運転経歴証明書の受領

(アットホーム介護より)



## あなたの声を町政に

# 一般質問 6人が登壇！



森 誠一

## 三ヶ瀬川の抜本的な災害対策は

**町長** 河川整備計画はない

**町長** 閩三ヶ瀬川地区特に大原、阿仙原は大雨のたびに田畑が浸水している、今回は住宅の床上浸水等の被害がありました。河川改修や宅地の嵩上げ等の抜本的な対策をすべきではないか。

**町長** 抜本的な対策といえ、三ヶ瀬川の河川改修を行うことが考えられますが、現時点では、河川整備計画はありませんので、改修事業の見通しも厳しい状況であります。

これまでの取り組みとしては、河川の堆積土砂撤去工事を度々実施している、また過去の災害に対して地元が行う堤防嵩上げの補助金を出し当面可能な対策を実施している。大原地区は今回の災害復旧事業に合わせて、堤防の嵩上げが実施される予定。抜本的な対策は難しいと思われるが、今後とも災害からの人命、

財産の保護に対して、県とも協力して、ソフト面、ハード面それぞれに可能な対策を実施していく。

**建設課長** 全国、県内の状況を調査していく。

## 災害ごみ対応は

**町長** 閩被災者から清掃工場の対応に不満の声を聴きました。

近隣の自治体は、臨時のごみステーションを設け対応したと聞いています。本町の対応は適切だったのか。

**町長** 台風通過後の20日時点で災害ごみの状況が把握できておらず、清掃工場は通常通りの受け入れを行った。



## 西門川地区 空家バンクの開設を

神崎千香子

### 町長 町内全体の空家の調査から

**町長** 西門川地区は、町民の水がめ、五十鈴川の上流で命の要の地域だ。地域の活性化には、若者の定住策が重要である。空家を活用した定住策を展開するため空家を調査し空家バンクの開設を。

**町長** 地方創生の事業で、移住促進をあげている。今後、町内の空家の調査を行い、調査の結果、所有者の意向を踏まえ、空家バンクの検討を進め、宅建協会とも連携し、移住者・Uターン者、の意向に沿えるように努める。

**町長** 中学校統廃合委員会の調査で、PTA関係者などが、定住化について様々な意見を出しているが、その事に対する町長の考えは、

**町長** 定住化施策を進めていく。



中学生と「しめ縄」を作りました

**町長** 西門川地区に特化して質問している。今、西門川小中学校が統廃合の憂き目に合っているからだ。

**町長** 統廃合検討委員会の調査で、消防団、保護者などのグループが、「定住策をする事が、門川の活性化になる。小中学校を残すことは、地域のために大きなメリットになる。」としている。

**町長** この検討委員会の議事録を読まれたか。

**町長** その詳細については記憶にない。

**町長** 町長 その内容は、西門川地域が門川町のメリットになるようなモデルにならないか。西門川小中の存続がはつきりしないので、若い世代は西門川に住まない。

**町長** 若い世代の住める環境を整備し町内外から若い世代を呼び込めたらどうか等の意見だ。



ミニコンサート (西門川活性化センターで)

**町長** 私が決定したわけではない。検討委員会で答申を頂き、区の総会や西門川の教育を語る会で了承され教育委員会の答申に沿って、粛々と進めていく。

**町長** 特化して、ここを中心とか、ここだけという町政の仕方はいけないと思う。つねに全体を見回した上での均衡ある施策というのが必要だ。

**町長** 町のリーダーが、地域や教育委員会に丸投げで、粛々と従うだけでいいのか。

**町長** 空家対策の法律にも重点地区設定があるが、西門川地区を重点地区として、県の中山間地の条例なども活用しながら、総合的な空家施策をスピードをもって取り組むべきではないか。

- その他の質問
- ①西門川児童館を正式な保育園に
  - ②学校選択制度について
  - ③特認校の募集は公募の際、条件を明記すべき
  - ④特認校の兄弟で入学の条件は撤廃すべき

## 文化振興への取組を

菊地 稿治

### 町長 活性化のために各団体の声を聞く



**町長** 近年の殺伐とした世相の中にあつて、「文化の力」が今ほど必要な時ではないだろうか。本町内にも、絵、写真、華道、書道等々たくさんの方が活動されている。しかし、現在町内にはその発表の場所がないため町民の目に触れる機会が少なくなっている。これらの方々がより一層地域の活性化に貢献してもらうようにするために、環境を整備することが非常に重要になってきていると強調したい。

**町長** 現在ある施設を利用して、いつでも活動発表が出来るようにミニギャラリー等の環境整備に取り組んでほしい。

**町長** 本町では「心豊かなまちづくり」として文化の振興の必要性から、文化施設を整備、充実させ、文化活動の活性化を図るとともに、門川ふるさと文化財団と

の連携で様々な施策を実施してきている。総合文化会館、図書館や中央公民館など活動の拠点となる施設整備とそれらの有効活用、さらに文化を担う人材や文化団体の育成が町民の芸術文化の向上に大きく寄与するものと理解している。

**町長** 今後さらに、文化活動が活性化するため町文化協会を含めた各団体の声を耳を傾けるとともに、発表の場としての施設の活用については、条件面整備も含め各施設の管理者と十



町文化祭展示の生け花

分な協議・連携を図らなければならないと考える。

**町長** 健康遊具を使った健康づくり

**町長** 近年、全国の公園で中高年が楽しめる遊具が増えている。ストレッチャツイスト、ジャンプ、屈伸等の運動ができる大人用「健康遊具」だ。

**町長** 少子高齢化で子供の公園利用が減少する一方で、公園に集う中高年が増加。健康づくりや老化防止に役立ててもらおうと、各地の自

治体が入力している。中高年の方が、散歩がてら公園に寄り、筋力アップに役立つ腹筋ベンチや懸垂平行棒などの健康遊具を利用することにより、遊び感覚で気軽に体を動かすことで介護予防にもつながる。本町でも、健康遊具の設置を望む声が寄せられている。年次的でも良いから導入を図ってほしいか。



愛宕山公園

**町長** 健康遊具は、全国的に設置が進んでいる。高齢者の健康づくりや介護予防に公園を活用する事例が増えている。

**町長** 一方設置場所によっては利用者が少なく、整備効果が図られない事例もある。

**町長** 近隣自治体の導入状況を調査してみると、延

岡市では愛宕山公園など3箇所、日向市でも御鉾ヶ浦公園など3箇所設置されているので今後、これらの利用状況なども参考にしたい。

**町長** 健康遊具設置の目的は十分理解しているが今後、本町への導入については高齢者団体や地区からの要望も伺いながら設置場所の選定や利用者への見込み、整備効果など検討してまいります。



# 空き家・空き地対策は

森川 春夫

## 町長 条例に基づき対応していく

町長 特定空家等は、全てについては把握できていないのが現状。今後、「生活環境条例」に基づき対応し、また所有者等が近隣在住者であれば、直接適正管理をお願いする。特別措置法に基づく計画等は、県内の動向を見ながら対応していきたい。

町長 空き地についても条例に基づき対応する。文書にて改善をお願いしても、改善されない場合は再通知を行ない、場合によっては勧告書を送付している。近隣市町村の方であ

### 各種団体の活動支援

町長 これまで設置場所の検討を行ない、候補を選定していたが、現在までに実施に至っていない。今後は、運用や管理方法等について検討していく。

### 各種団体の活動支援

町長 平成25年3月議会で各種団体の情報発信や交流の場の設置について、検討をしているとの答弁をいただいたが、その後は

### ストレスチェック

町長 これまで設置場所の検討を行ない、候補を選定していたが、現在までに実施に至っていない。今後は、運用や管理方法等について検討していく。

町長 本町役場もその対象事業所に該当する。今回創設の制度は、メンタルヘルス不調の未然防止を主な目的とする。また、検査結果をグループ分析し、職場環境改善につなげるものとして期待されている。実施方法について本町では、事務処理を総務課の担当職員が行い、内容の確認、分析等を外部機関へ委託し、連携して実施する。

## 12月定例会 表決表

各議員の審査結果 (○:賛成、●:反対、欠:欠席、一:議長)

議案 (全員賛成の議案は除きます。)	米良 格	岩佐 祐一	森川 春夫	菊地 稿治	請関 義人	安藤 福松	黒木 裕	水永 正継	小林 芳彦	内山田善信	神崎千香子	米良 昭平	森 誠一	安田 茂明
議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	欠	○	一
都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	欠	○	一
農地・農業用施設災害復旧事業の分担金徴収条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	一
地方議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	一

# 五十鈴川の抜本的洪水対策は

水永 正継

## 町長 今年度中に河川整備計画を策定する

町長 五十鈴川及びびその支流である三ヶ瀬川、津々良川流域は、たびたび台風や大雨による水害に見舞われ、近年災害の規模は大きくなり、災害に襲われる回数が多くなっている。今年の台風16号の被害から分かるように流域住民の不安は消えることがなく、増大するばかりである。

町長 今回の被害状況は、住居の床上浸水25世帯、床下浸水50世帯、水田の冠水48ヘクタール、水田の流出・埋没5ヘクタール、道路の被害10箇所、林道の被害11箇所、河川の被害5箇所、崖崩れ2箇所、西門川小中学校の文教施設の被害など数多くに及んでいる。

町長 被害総額は10月17日の時点で、約1億7000万円。特に西門川地域は、過去に何度も大きな水害に見舞われている。抜本的な対策は、



増水の様子(更生橋)

町長 五十鈴川の支流三ヶ瀬川、津々良川の県管理区間の箇所も引き続き防災対策を要望していく。

町長 町では、かねてより県に対して五十鈴川の本格河川改修の要望活動を行ってきた。この度、五十鈴川水系河川整備計画(案)が策定され、関係住民説明会を経て、今年度中に河川整備計画を策定する予定である。洪水対策としては、JR日豊本線の橋梁上部から、更生橋上流までの約10・5キロメートル区間の川床掘削や築堤、護岸の整備を行う。



大原地区田んぼ被害

### 漁港の環境問題

町長 門川漁港の養魚場跡は、一部の生活廃棄物は取り除かれたが、依然として廃墟のままである。コンクリート造りのいけすには汚水がたまり、建物の残骸が中や周りに散乱している。この朽ち果てた姿は、見苦しい。魚の町門川町にとって、近くには魚の加工場があり、環境上、何時までも放置できるものではない。解決方法はないのか。



養魚場跡に散乱するゴミ



町長 この土地については北部港湾事務所の所有地であるが、管理は門川漁協が行っている。門川漁協としてもこの廃棄物問題は長年の懸案事項であり、継続的に県と検討を行ってきた。昨年10月、門川漁協と尾末地区区長会の連名で県に環境改善の依頼を行った。先月も、門川漁協から県に活用方法について相談を行ったところである。国の補助事業の活用についても検討を行っているが、実施要件が合わず難しい状況にある。まずは、管理者である門川漁協と県や契約者との協議内容の推移を考慮しながら、町としても出来る範囲で協力していきたい。

# 追跡レポ 過去の一般質問から みれば、どんなになったかな

## 加草中村線 スマートインターと国道10号へのアクセス道路



国道10号との交差点付近(加草)

### 平成26年6月議会 森 誠一議員

問 スマートインターから国道への道路整備は。

答 町長  
加草中村線の整備手法を県に相談している。町としても、今回の補正予算でこの路線の概略設計を実施し、事業化に向けた検討を進める。

### 平成26年6月議会 請関 義人議員

問 スマートインターのアクセス整備について。

答 町長  
加草～中村線を可能な限り、早期に着手する。

### 平成26年6月議会 内山田善信議員

問 スマートインター供用開始後、周辺町道の交通量の増加に伴い町道整備計画は。

答 町長  
丸山川沿いの「加草枝橋線」が懸念されるが、緩和策として『加草中村線』の早期事業化を図る。

### 平成27年9月議会 米良 格議員

問 都市計画道路 加草～中村線の完成年度は。

答 町長  
県に県道として整備を要望中。

### 平成27年9月議会 安藤 福松議員

問 加草中村線の整備が必要。

答 町長  
産業や観光の振興などに大きな効果があり、津波対策避難路にもなることから、県道認定に向けて要望活動中。

### 平成28年6月議会 神崎千香子議員

問 加草中村線の取り組みと見通しは。

答 町長  
県道認定を県へ要望しているが、現実には要件を満たしてなく厳しい。県道認定の必要性を粘り強く取り組む。

問 概略設計と費用は。

答 建設課長  
延長は635メートル、鉄道高架のルートでは、概算事業費は約7億円。

問 防災面、観光面からも重要で、付近は車も多く、生活道路としても不安がある。まず、町主体で取り組むのが本筋ではないか。

答 建設課長  
これからは、町がどうすれば県から支援が受けられるか、具体的に県と協議していきたい。

答 町長  
前進するための一番いい方法でやっていく。

### 平成28年5月

県への要望活動 町長 議長他

要望内容  
加草～中村線の県道認定。

県  
県道認定の要件を満たす必要があるが、加草中村線はこの要件を満たしておらず、現状において県道認定は大変厳しい。

(記：神崎)

## 条例の改正

一般職の職員給与に関する条例の一部改正

国家公務員に対する人事院勧告および宮崎県人事委員会勧告を受け、国と宮崎県は職員の給与を改定する予定であり、本町も国、県に準じて改定するもの。内容は、国、県に準じ、職員の初任給を1500円引き上げ、若年層においても同程度の改定を行い、その他はそれぞれ400円の改定を基本に、職員の月例給を平均0.2%引き上げる給料表の改定を行います。また、勤勉手当の支給月数を0.1月引き上げ、年間4.3月とするもの。

(可決・全員賛成)

以下の3条例の一部改正は、前述の一般職の職員に対する措置に準じて、それぞれ期末手当の支給割合を0.1月分引き上げるもの。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

(可決・全員賛成)

教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

(可決・全員賛成)

議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

(可決・賛成多数)

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

労働法制の改正内容に即し、要介護者の介護をするための介護休暇の所得可能期間を、3の期間に分割して取得することを可能とするもの。

また、1日の勤務時間の一部につき、2時間を越えない範囲内で要介護者の介護が可能となる介護制度を新設する。

(可決・全員賛成)

都市公園条例の一部改正

現在施工中の海浜総合公園のテニスコート改修に伴い、使用料の見直しをするもの。

コート1面、1時間当たり、生徒が100円から210円に、一般が210円から430円に改正する。平成29年4月1日から適用する。

(可決・賛成多数)

非常勤特別職職員の報酬等に関する条例の一部改正

農業委員候補者選考委員会の出会費用を、特別職の報酬(日

額)として支出するもの。

(可決・全員賛成)

証人等に対する実費弁償に関する条例の一部改正

農業委員会等に関する法律の改正により生じた「条項ずれ」を改正するもので、内容は変わりません。

(可決・全員賛成)

## 条例の制定

農地・農業用施設災害復旧事業分  
担金徴収条例制定

農地・農業用施設の災害復旧事業に要する経費に充てるため、受益者から分担金を徴収するもの。

(可決・賛成多数)

## 意見書

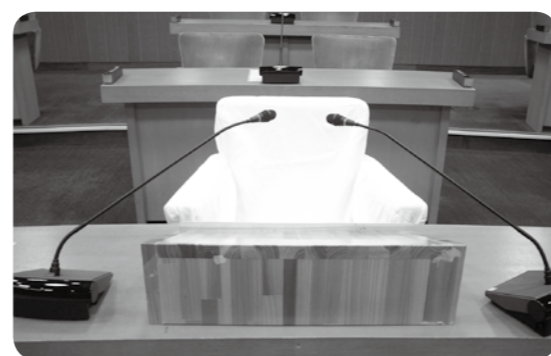
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現することを求める意見書の提出。

(採択・賛成多数)

## 傍聴者の声

9月議会において議場音声が聞き取りにくいというご指摘をいただき、12月議会でもマイクを試験的に1本増設しました。  
・前回よりも一歩前進の議会内容であったと感じた。質問内容も答弁内容も明確に聞き取れた。  
・質問者側の集音マイク2本立は大変良い効果を与えていると思います。質問者の言葉が今までよりも明確に聞き取れる様になっています。(傍聴者より)  
貴重な御意見ありがとうございました。今後もよりよい議会運営に努めます。



質問席にマイク2本設置

# 地域の力特集

## 『かもわら会』(加草)

会長 高橋幸太郎さん(加草2区)



コスモスの種を蒔く高橋幸太郎さん



仲間とひと休み

### 議場に来てみらんね

12月議会には10人の方に傍聴いただきました。  
次回の定例会は3月です。  
心よりお待ちしております。

お問い合わせ: 議会事務局  
TEL 63-1140(内線271)

会の名前は、地域の名前の鴨原からつけたとの事。結成は30年前に鴨原地区でPTA活動をしてきた保護者らで立ち上げた。現在は60歳から70歳代の16人のメンバーで田んぼのあぜ道の草刈りや溝掃除、休耕田でのコスモスも育てている。

今回は会長の高橋幸太郎さんをご紹介します。

#### ■ 入会した理由は

**高橋さん** 東京に住んでいたのですが都会の人ごみに慣れなくて、定年を機に13年前、帰郷しました。会に入ったのは、3年前です。同級生から誘われて健康維持のためにと入りました。先輩から助けられて活動しているのですが、活動している事がみんなのお役にたてる事は嬉しいです。

#### ■ 活動を続けていく秘訣は

**高橋さん** 作業の後の呑み会ですね。みんなで酒を呑んでカラオケで歌ったり、魚釣りにも行きます。

#### ■ 今年の活動はどうだったですか。

**高橋さん** 8月にコスモスを植えたのですが、雨が多かったからか、花があまり咲いていなかったのが残念。

奉仕活動も健康維持のためとの高橋さんですが、地域の人と地区の公民館での毎朝のラジオ体操も高橋さんの健康維持のための日課だそうです。

(記: 神崎)

## 編集後記

第4回定例会が一般会計補正予算等を可決し12月12日で閉会しました。

3地区で行った第4回議会報告会では多くの意見や要望をいただきました。提言書にまとめ町長に提出したところです。

昨年は町職員の不祥事が相次ぎました。議会としては、今後の町の対応に注視していきたい。

現編集委員での議会だよりも149号で最後になり、次回号からは新メンバーでの発行となります。

終わりに本年も皆様にとりまして輝かしい年になりますようお祈り申し上げます。

(記: 森)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 森 誠一
- 副委員長 森川 春夫
- 委員 神崎千香子
- 委員 岩佐 祐一
- 委員 米良 格

■ 発行者/門川町議会議長 安田茂明

■ 編集/議会広報編集特別委員会

〒889-0696  
宮崎県門川町本町1丁目1番地  
TEL(0982) 63-1140

■ 印刷/安井株式会社

